

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス オリーブ				公表日	2026年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		当事業所は基準より広い専有面積がございます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		基準は満たしておりますが、人員が増えることで実行可能な支援が多いと感じております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4		バリアフリー化の工事はできませんが、可能な範囲で対応しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		必要に応じて除菌をおこなうなど、衛生管理に努めております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		共有スペースの他、自学習室や静養室などがあり、活動や状況に応じて使用可能となっております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	都度調整するなど、スピード重視で対応している。	瞬間的に問題が発生することも多いため、速度重視で対応しております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		ご意見を真摯に受け止め、改善へ努めております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		職員同士で意見を気軽に言い合える環境づくりをおこなっております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		第三者により外部評価の実施については今後検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2		有益な情報の共有についておこなってまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		ホームページで公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		寄り添った支援を心がけております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		作成の段階から職員の意見を広く取り入れております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		情報共有はおこなっておりますが、計画の内容が当該利用者の実態にそくわない場合は相談の上で変更しております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		利用者の機微を常に分析しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		必要な支援をおこなうために、それぞれの状況を踏まえた計画を策定しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		職員間で意見交換をおこないながら作成しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		意識的に固定化を避けておりますので、種類を増やすよう心がけております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		支援が必要な困りに合わせて計画を策定しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		必要最低限に留まっているように感じているので、より深く話せるよう整備してまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		フィードバックから得られるヒントも多数あり、次回の支援に活用しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	2		記憶を頼りに記録を作成する場面が多いので、人員増加を目指してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		状況に応じた変更をおこなっております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		計画を策定するにあたって、意識的に組み込んでおります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		声掛けや見守りしつつ、選択支援をおこなっております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		職員間の情報共有により、詳細な資料を作成したうえで臨んでいます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		業務の中で関わり合いのある機関以外となると、今後の課題となります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		必要な情報共有をおこなうよう徹底しております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		管理者側でお聞きした内容を職員へ情報共有し、支援へ活用しております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4		現状、まだ対象者がいませんがその時期には情報共有をおこないます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		必要な場面には機会を設けることが可能です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		交流活動については今後の課題となっております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		今後とも協力体制を維持してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		事業所での支援につながるヒントをいただく場合も多数ございます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		情報提供をおこなうことはありますが、主催は今後検討してまいります。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		ご契約の際にご案内差し上げております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		特別に設けるようにしておりますが、それ以外の機会であってもご相談可能となっております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		必ずご案内させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		気軽に相談可能な環境が整備されており、必要であれば面談等をおこなっております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		開催回数を増やすこと、また内容の充実化に関しては検討させていただきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		事業所に窓口を用意しておりますが、外部機関のご案内も同時におこなっております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		機関紙を毎月発行したり、公式LINEでのご報告をおこなっております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		慎重に取り扱っております。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		それぞれが可能な意思の伝達方法を用いて、コミュニケーションをはかっております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		過去におこなった際、地域からの参加がゼロだったことがございます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		状況に応じたアップデートをおこなってまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	3		計画の策定から訓練に至るまで、必要な対応をおこなってまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		些細なことでも情報共有できるよう、連絡の取りやすい環境作りを心がけております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		ご提出いただいている診断書以外であっても、事前確認をおこなうようにしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		様々な状況を想定し、業務を遂行しております。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		緊急の際に連絡が取れるようご協力いただいております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		発生し得る事故に関して事前に先回りして対応できるよう、俯瞰で物事を見られるよう意識しております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		防止に努めております。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		判断が難しい場合は必ず確認を取るようしております。	